

商工観光分野の地域ビジョン

～一人ひとりが満たされる町～

2022年3月

御浜町エリアマネジメント調整会議

御浜町
みえ熊野古道商工会
一般社団法人ツーリズムみはま（マネジメント法人）

1. はじめに

この『商工観光分野の地域ビジョン』は、私たちが、御浜町の商工観光分野において、その目指すべき方向性を明らかにするとともに、これを内外に広く共有し、地域と共に取り組みを進めていくことで、将来的に「自立した持続可能な地域」を実現することを目的としています。

御浜町エリアマネジメント調整会議において取りまとめた「10年後の町の理想像」から『商工観光分野の地域ビジョン』を描き、その実現に向けた「共通バリュー※¹」を示すとともに、「御浜町」、「みえ熊野古道商工会」及び「マネジメント法人（一社）ツーリズムみはま」の3者（以下「3者」という。）が担うそれぞれのミッション※²と役割を明らかにしています。

将来的には、この3者以外にも新たな実施主体が加わり、農業・漁業・林業をはじめ、多様な分野に仲間が広がって、この取り組みが展開されることを期待します。

「10年後の町の理想像」

海・山・川等の豊かな自然の中で、田畑等が美しく保たれています。穏やかに暮らすことができ、その土地柄なのか人の温かみも感じられ、日常的な買い物や病院等に特に困ることもなく、案外住みやすくて「ええ町やね」という声が多く聞かれます。

住んでいる人も訪れる人も、愛着を持って、「いい町、御浜」を実感しています。

※1 バリュー … ビジョン実現に向けた行動指針となる価値観。

※2 ミッション… 組織が果たすべき使命。

2. 課題と方向性

御浜町の人口は、この先も、数十年間にわたって、確実に減少していきます。

この予測可能な未来を念頭に置きつつ、町の現状を経済的な視点から分析すると、生産の面では、柑橘栽培を中心とした農業及び漁業などの第1次産業には、地域外から所得を得るという意味で、他の地域と比べて優位性があることがわかります。この第1次産業が、その優位性を保ったまま継続されていくことが、町の将来にとって重要です。

もう一つの特徴として、高齢者に支給されている年金や国から町への財政移転による所得の流入が非常に大きい規模であることが挙げられます。

これらは、人口の増減と相関関係があると考えられる所得です。人口減少によって、これらの所得をはじめとした地域全体の所得が減り続けていくと、地域内での消費の減少という形で地域の商工業に大きな影響を及ぼすことになります。

将来の御浜町にあって、住民の穏やかな暮らしを守り、住みやすい町を維持するためには、商工業が必要とされ続け、維持できていけるのかが、商工観光分野における大きな課題です。

この大きな課題への対応の方向性としては、『熊野市から新宮市までの近隣市町全体を同じ生活圏内として捉えて、町内はもとより、圏内からの暮らしに関わる日常的な消費を今まで以上に取り込むこと』、さらに、『圏外からの来訪者（旅行者等）による宿泊や体験メニュー等の非日常的な消費を今まで以上に取り込むこと』が必要となります。

一方で、御浜町の商工業においては、これまでも人口減少の影響を受けながらも、それぞれの事業者の皆さんの創意工夫や営業・経営努力をもって、その営みが続けられてきました。

今後、商工観光分野における大きな課題に対応していくためには、これまでの事業者の皆さんによる個々の取り組みだけでは対応しきれなくなることが危惧されることから、地域全体の課題として、地域が一丸となって挑戦していくことが求められます。

3. 商工観光分野の地域ビジョン

「一人ひとりが満たされる町」

地域一丸となって、前述の方向性に沿った取り組みを展開することが必要となる中、より顧客一人ひとりを満足させ愛される商工業のある町の姿を表した10年後のビジョン「一人ひとりが満たされる町」を地域共通のものとして掲げ、事業者の皆さんや地域住民等の理解と協力を得ながら、将来の御浜町にあって、商工業が必要とされ続け、維持できていけるのかという課題の解決に取り組みます。

この取り組みを効果的に行えるように、長期的な視点に立って地域の顧客データベースを構築し、地域のCRM戦略^{※3}を基本としたマーケティング活動を継続的に実施していきます。

また、地域ビジョンの達成基準とする目標の設定にあたっては、「地域ビジョンが実現された状態」を「効果的な地域経済循環を促進する上で必要とされる規模の付加価値^{※4}が地域内に確保されている状態」と定義します。ただし、付加価値額を適時把握していくことは困難であるため、地域消費額をもって代替します。

なお、消費データの集積等が十分でない地域消費額の総額の推計そのものが不確かなものになってしまうことから、3年間は、把握可能な消費データの総量を増やすことに注力し、人口減少が進む中であっても、地域消費額をできるだけ維持していくという考えのもと、具体的な目標を次のとおり定めます。

3年後（令和6年度末）の目標：**把握可能な地域消費額（推計）年間4億円の維持**

4. 共通バリュー

「御浜と御浜につながる一人ひとりを大切にする。」

町を大切に思うのはもちろんのこと、町に関わる一人ひとりとダイレクトにつながり、良好な関係性を構築していくという意味を表した「御浜と御浜につながる一人ひとりを大切にする。」を共通バリューとして示します。

地域ビジョンを実現するため、この共通バリューを行動にあたっての指針として実施主体間で共有し、以下のミッション及び役割に沿った取り組みを実施します。

5. 各主体のミッション及び役割（令和4年度～令和6年度）

商工観光分野の地域ビジョン

「一人ひとりが満たされる町」

項目	主体	ミッション	役割
【共通バリュー】 「御浜と御浜につながる一人ひとりを大切にする。」	効果的な地域経済循環に向けた地域マーケティングの取り組み・受け入れ環境等の整備	(一社)ツーリズムみはま（マーケティングセンター&KiiCard事務局部門）	①地域 MC（調整会議含む。）の運営を担う。 ②観光（商工）分野のプロモーション活動の総括を担う。 ③CRMツール「KiiCard」の運営を担う。
	御浜町	地域消費の拡大、効果的な経済循環を促進し、商工業を営む事業者の活力を生み出す。	①地域MC（調整会議含む。）の運営を下支えする。 ②商工会の運営及び各種事業を支援する。 ③関係機関等との連携を図る。 ④来訪者向けコンテンツの開発を支援する。 ⑤集客施設・その他集客のためのインフラ等について、適切な管理と必要な整備及び事業者の参入を支援する。 ⑥七里御浜ツーリストインフォメーションセンターを設置し、指定管理者制度で運営する。 現指定管理者：(一社)ツーリズムみはま
	みえ熊野古道商工会	地域の商工業の魅力を向上させる。	①地域の小規模事業者や中小企業の経営をサポートする。 ②地域CRMに協力する事業者へのKiiCardの普及・活用支援を行う。
	(一社)ツーリズムみはま（：旅行事業&プロモーション事業部門）他	圏外からの新たな需要の創出に先駆的に取り組み、地域の自立と持続に貢献する。	①旅行者向けコンテンツを先駆的に開発し、収益化に挑戦する。 ②観光（商工）以外の分野においてプロモーション関連サービスを先駆的に開発し、収益化に挑戦する。

※3 地域のCRM戦略… CRMは、Customer Relationship Managementの略で、「顧客関係管理」の意味。地域全体で顧客の情報を収集・分析した上で、最適なアプローチを行い、顧客と良好な関係性を構築することで、継続的かつ安定的に利益を確保するための地域としての経営戦略。

※4 付加価値… 地域が生産した商品やサービス等を販売して得た金額から、原材料費や外注費といった中間投入額を差し引いた値。企業の粗利に相当する。

参考資料

御浜町エリアマネジメント調整会議 令和3年度幹事会名簿（順不同・敬称略）

幹事・オブザーバー等

氏 名	所属・役職	備 考
大畑 覚	御浜町長	代表
丹羽 要樹	御浜町副町長	※町長代理
山門 祐典	伊勢農業協同組合 組合員	幹事
清水 志保	三重くまの森林組合 職員	幹事
鈴木 準一	紀南漁業協同組合 組合員	幹事
奥田 高久	みえ熊野古道商工会 会員	幹事
湯浅 智賀	みえ熊野古道商工会 会員	幹事
尾崎 誠治	みえ熊野古道商工会 会員(法人)の職員	幹事
清水 瑞人	みえ熊野古道商工会 会員(法人)の職員	※幹事代理
山田 幸寛	みえ熊野古道商工会 会員(法人)の職員	※幹事代理
石垣 浩子	一般社団法人ここテラス 職員	幹事
井上 和憲	みえ熊野古道商工会御浜支所 職員	幹事
下川 博愛	御浜町企画課 課長	幹事
湊 賢一郎	一般社団法人ツーリズムみはま 代表理事	マネジメント法人
野瀬 誠	みえ熊野古道商工会 会員(法人)の職員	オブザーバー
中道 政信	みえ熊野古道商工会 会員	オブザーバー
梶原 孝一	みえ熊野古道商工会 会員	オブザーバー
勝田 多鶴子	みえ熊野古道商工会 会員	オブザーバー
泉 優子	みえ熊野古道商工会 会員	オブザーバー

アドバイザー

氏 名	所属・役職
山田 桂一郎	JTIC.SWISS 代表

商工観光分野の地域ビジョンの策定経過

日 付	内 容
令和3年4月27日	令和3年度第1回幹事会 1、ワークショップ「御浜町の好きなところ、好きなもの」 2、商工観光分野を中心とした地域ビジョンについて (1)人口と経済について (2)地域ビジョンについて (3)（一社）ツーリズムみはまの事業内容等について
令和3年6月23日	令和3年度第2回幹事会 1、御浜町の農業・漁業について 2、御浜町の地域経済（所得循環構造、生産・販売）について 3、地域マーケティングセンター関連の報告
令和3年7月30日	令和3年度第3回幹事会 1、第4回幹事会以降の進め方について 2、一般社団法人ここテラスの活動について 3、御浜町の地域経済（所得循環構造、分配（所得）、支出）について 4、第1～3回幹事会のまとめについて
令和3年10月4日	令和3年度第4回幹事会 1、商工観光分野を中心とした地域ビジョン検討作業 2、地域マーケティングセンター関連の報告
令和3年11月10日	令和3年度第5回幹事会 1、商工観光分野を中心とした地域ビジョン検討作業
令和3年11月26日	令和3年度第6回幹事会 1、特別対談 JTIC.SWISS 代表 山田桂一郎氏 株式会社伊勢福 相談役 橋川史宏氏 2、地域マーケティングセンター関連の報告
令和4年3月9日	令和3年度第7回幹事会 1、商工観光分野の地域ビジョン（案）について（承認） 2、地域ビジョンに基づく取り組みについて
令和4年3月24日	令和3年度第1回全体会 1、商工観光分野の地域ビジョン及び取組内容について（報告）